



令和 7 年 2 月 号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 高橋 章子

たくさん遊んで力をつけて

園長 高橋 章子

今回は、修了に近づいている 5 歳児の成長についてお話しします。

年長きりん組は、この時期になると、自分たちがこれまで経験してきたことをバージョンアップして遊んでいます。

先日女の子たちが、カバン作りをしていました。年長組になると、漠然と“カバンがほしい！”ではなく、何のためにどのような形状のものを作りたいのか、具体的に素材や色について担任に相談してきます。担任は、その思いに添って「これは？」と思う物を提示し方法をアドバイスしていきます。

今回は、柔らかい本物のカバンがほしかったようです。担任は、不織布という布のような素材を提示し、子どもたちは早速自分たちで作っていました。そして、それを肩にかけてピクニックに出かけました。

そして“さらにこれが欲しい、こうしたい。”という思いから、最終的にはカバンだけではなく、帽子や上着、手袋やハンカチまで作って楽しんでいました。

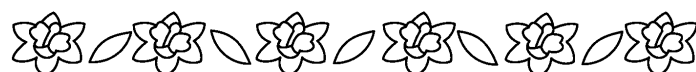
作り方はこれまでの遊びや活動で自分たちが取り組んできた方法をアレンジしたものです。担任の力は、取り掛かりのところやさらに付け足したい部分でのアドバイス程度でした。自分たちであれこれ相談しながら思いを実現していく姿に、私もたくましさを感じました。

これはまさに年長組の 3 学期の姿です。これまでの園生活で培った様々な経験がそれぞれの力となり、子どもたちは自信をもって行動に変えていくことができるようになるのです。

さて、学校に上がって授業中心の生活が始まると、このような遊びの体験を生かす機会がないかと思いきや、実はそういった実体験こそが、物事の捉え方・考えの整理の仕方、見通しの持ち方などにしっかりと発揮されていくのです。まさに遊びは学びです。


人との関わりにおいても同様です。友達との関わりで、うれしかったこと・悲しかったこと・悔しかったことなどを通して気持ちの整理の仕方、思いの表し方、相手にも思いがあることなどを学んでいきます。そして、自分の気持ちや考えを言葉で表現したり友達と話し合い受け止め合ったりして協調や調整する力がついていきます。そして、何よりも友達と協力し合う楽しさや充実感を味わえるようになります。これはまさに社会生活の基礎ですね。

年長組にとってはあと少しの園生活です。担任の見守りのもと、自分に自信をもち、みんなの中で過ごす喜びと力を積んで巣立ってほしいと願っています。



2月の予定

◆:※午前保育

日	曜	行 事 予 定	日	曜	3月の行事予定
1	土		1	土	
2	日	(暦の上での節分)	2	日	
3	月	安全指導 (立春)	3	月	安全指導 (桃の節句) ひなまつり茶会
4	火	総合避難訓練 ④ うさぎ組参加参観懇談終	4	火	⑤保護者会 避難訓練
5	水	◆:研究会参加のため	5	水	④保護者会 ④⑤誕生会
6	木	体重測定(全)	6	木	③保護者会 身体測定(全)
7	金	ぱんだ組・きりん組コンサート⑥	7	金	お別れ会
8	土	阿波踊りを体験する会(自由参加)③	8	土	⑤なでしこフェスティバル(有志)
9	日		9	日	
10	月		10	月	
11	火	建国記念の日	11	火	
12	水	ぱんだ組自転車ゲーム⑩ アイアイ	12	水	
13	木	(自転車ゲーム予備日)	13	木	
14	金	きりん組大宮小1年生との交流⑤	14	金	
15	土	◆:うさぎ組「劇遊び」⑦ 令和7年度新入園児保護者会(PM)	15	土	
16	日		16	日	
17	月	うさぎ組※振替休業日	17	月	※弁当終
18	火	うさぎ組個人面談始⑧	18	火	◆:修了式準備のため
19	水	ぱんだ組・きりん組誕生会	19	水	◆修了式
20	木		20	木	春分の日
21	金	◆:研究会参加のため	21	金	◆終業式
22	土		22	土	春季休業日始
23	日	天皇誕生日	23	日	
24	月	振替休日	24	月	
25	火	手話に親しむ会⑨	25	火	一時保育終
26	水	アイアイ	26	水	
27	木	運動遊び	27	木	
28	金		28	金	
			29	土	
			30	日	
			31	月	

うさぎ組

「これがやりたい！」と子どもたちなりにやりたいことに向かって遊ぶことを楽しむ姿が多くみられるようになりました。「風揚げたいからお外行ってくるね。」「ステージ作りたいけどどうしたらいい…?」「ここからポップコーンが出るようにするの!」とやりたいこと、担任にしてほしいこと、困っていること等を自分なりに伝え、『できた!』と完成したことに喜びを感じています。できるようになったことが増えて嬉しいうさぎ組の子どもたちです。

今月は、次のことを重点にして指導していきます。

- 自分の思いをいろいろな方法で表しながら遊ぶ。
- 友達と一緒にいろいろなものになりきって遊ぶ楽しさを感じる。

好きな遊びや日々の生活の中で、自分の思いを表すこと、その思いが相手に伝わる心地よさを味わえるようにしていきます。嬉しい!楽しい!ことだけでなく、嫌だ・分からない等の気持ちも出てくることと思います。ありのままの子どもたちの姿を受け止め、その表現も大切にしていきます。また、2月には劇遊びがあります。遊びや活動の中で楽しんでいる『なりきり』を、保護者の方にも見ていただけるようにしていきます。子どもたち一人ひとりのありのままの表現を、温かく見守ってください。

ばんだ組

1月は、転がし中当てやしっぽ取り、風揚げなどをして戸外でたくさん体を動かして遊ぶことを楽しみました。コマ回しに繰り返し取り組み、諦めずに挑戦していく中で回せるようになった嬉しさを感じたり、作りたいものに向けて自分なりに作っていく中で、思いが実現できた喜びや満足感を感じたりして自信がついてきたばんだ組の子どもたちです。また、歌を歌ったり、楽器遊びをしたりする中で、みんなと声や音を合わせることの心地よさを感じています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分の思いや考えを友達に伝えて、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 学級の友達と一緒にいろいろな活動に意欲的に取り組む。
- 当番活動やお別れ会の準備をする中で年長組になる期待をもつ。

2月は、年長組への進級に向けて、当番活動の引継ぎやお別れ会の準備などの取り組みが始まっていきます。年長児への憧れの気持ちや感謝の気持ちを感じたり、進級への期待をもったりしながら、一人ひとりが力を出していけるように支えていきます。

きりん組

友達と一緒に「～をしよう」とめあてに向かって、力を出し合いながら遊ぶことを楽しんでいます。本物らしく作りこんだり、イメージを実現させたりしています。思いついたことを「自分たちの力で」実現できることに充実感をもっている姿があります。そして、互いに「いいね。すごいね!」と認め合う姿もありました。また、合奏やコマや竹馬など少し難しいことにも諦めずに挑戦しています。互いに励まし合いながら、繰り返し取り組んでいます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分や友達の良さを言葉にして伝え、互いに認め合いながら遊びや活動に取り組む。
- 就学を楽しみにし、期待をもって修了に向けた活動に取り組む。

学級の友達と一緒に遊びや活動に取り組む中で、互いのよさに気付いて認め合い、さらに遊びが楽しくなるように支えていきます。2月からは修了に向けて取り組みが始まっていきます。友達や園との別れが近づいていることに気付いて寂しさを感じたり、就学への期待感が高まったりする時期になります。様々な気持ちに寄り添いながら、就学を楽しみにできるように支えていきます。ご家庭の様子で変わったことがあればお知らせください。一緒に見守っていきましょう。